

平成28年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	市民ネット・むろらん
議員名	水江一弘、児玉智明、小田中稔、佐藤潤、高橋直美、立野浩靖
調査実施年月日	平成28年7月14日(木曜日)
調査先 自治体名等	長野県長野市
調査項目	1「認知症初期集中支援チーム」について 2「安心おかえりカルテ」について
調査目的	認知症が増加する中、取組みが認知症を取り巻く課題解決につながるのか検証すること 室蘭市においてどのように活用できるか検証すること
報告内容 実施したこと	1 視察先(市町村)の概要 人口：383,752人(H28.6.1現在) 行政面積：834.81km ² 2 視察内容 ① 取り組みの目的について ② 取り組みの経緯と内容について
感想(まとめ) 本市へ生かせること等	<p>長野市の認知症高齢者の状況は要支援・要介護認定者のうち、認知症日常生活自立度レベルⅡ(日常生活に支障を来すような症状・行動など見られる。)以上と判断された人は12,633人です。</p> <p>認知症に関する相談として認知症初期集中支援チーム事業があり平成25年からモデル事業としてスタートし現在に至ったわけですが、活動状況は、H27年度における訪問対象者は、74名(H26継続者24名+H27把握者50名)で、訪問回数は191件、チーム員会議は、24回で2,310分。1回平均96分で1回あたり3~4件の案件について協議。</p> <p>波及効果としては、認知症の人、またはその家族の実情を把握し、支援策の事業化に繋がったこと、認知症支援検討委員会においてチームの活動を報告したことにより、認知症施策の振り返りと今後の活動についての検討が可能となったなど。課題としては、認知症に対する早期支援の重要性についての周知・市民啓発、医療と介護の連携強化、認知症地域支援推進員との連携、認知症初期、若年性認知症の方や加須の居場所づくりなどが挙げられていました。</p> <p>必要な地域の見守りとして安心おかえりカルテ作成支援があり、地域包括支援センター職員が「安心おかえりカルテ」の作成を支援し、家族が改めて本人の状況を理解することや相談できる場や人とつながること、行方不明者の早期発見に役立てることを目的にH26年10月から始まっ</p>

た事業です。

作成数は、H26年度44件、H27年度60件となっており、中々進まないことが課題ということでした。その理由として、一人暮らしへの対応や認知症、またはその疑いがあるということを認めさせなければならないということが難しいということでした。

本市も、高齢者数が増加しており認知症対策が重要で急務な課題であることから、長野市の取り組みを参考とすべきと感じました。